

はつかいち た もの きゅうしょく
廿日市のおいしい食べ物を給食でつかってるよ！

たべもの新聞

Vol.17 じゃがいも

平成26年7月10日 廿日市学校給食センター

じゃがいも栽培の様子を紹介します!!
一大野の石井さん一

いしい みちこ あきよし
石井道子さん・明好さん



てんとう虫もいたよ!



大野の石井さんは、玉ねぎやじゃがいも、トマトなど、いろいろな種類の農作物を給食用に育ててくださっています。今回は、初夏に旬を迎えるじゃがいも栽培の様子を取材させていただきました。「食べる人にやさしい野菜作りを」という思いのもと、土作りにこだわりながら栽培されています。雑草が1本も生えないくらい手入れの行き届いた栽培がされていたのが印象的でした。

1

種いもを植える (3/11)



栽培途中に、「土寄せ」や「草抜き」をしなくてすむように、太くて深い畝を作り、シートをかぶせておきます。



畝に深めの穴を掘り、26cm間隔で種いもを植えます。最後に黒いシートで畝全体を覆います。

2

芽が出る (4月中旬)・成長する



太陽の光を浴びながら、葉がどんどん成長します。隣では玉ねぎが育てられています。



芽が出てきたらシートに穴を開け、葉や茎を太陽に当てながら育てます。

3

花が咲く (5月中旬)



花が咲く頃には、葉で作られた養分が、土の中の「いも」にどんどん蓄えられ、「いも」が大きくなっていきます。



葉が生い茂ってきたら、花が咲きます。じゃがいもの花は、真ん中が黄色く、まわりが薄紫色をしています。

4

収穫する (6/9)



地上の葉や茎を刈り取り、黒いシートを外し、鍬で土を掘りながら、じゃがいもを収穫していきます。

給食で使いました!!

6/27(金)「ビーンズカレーライス」



石井さんのじゃがいもは185kg届きました!



1つ1つ皮をむきます。



大きな釜で煮ます。



おいしいカレーライスの完成!!